

平田ロータリークラブ 週報

平成19年 3月15日

No.1602

発行日 毎週木曜日

率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド
第2690地区ガバナー 新宮彦助

島根県出雲市平田町2280-1
平田商工会議所2F TEL 0853-63-3232
FAX 0853-63-5365
I P 050-5204-5816
土・日曜・祝祭日休局
E-mail hiratarc@hit-5.net

会長 加藤喜久 副会長 田中久雄
幹事 荒木 貫 会計 金田卓也

例会プログラム

例 会	卓 話 者	演 題
第1602回	島根大学名誉教授 吉野蕃人様	桜は一人で育たない。
第1603回	山根 貞様	「十六島」炉辺物語
第1604回	会員 佐藤 初	旬へのこだわり

出席報告

会 員 数	出 席 者 数	欠 席 者 数	出 席 率	前 回 補 正 率
48	39	9 (2)	84.78	93.75

欠 席 者 大島治・金田・原光・園山・常松・黒田・石橋 (森山・石原忠)
来 訪 者 三代 (出雲南)
M U 3/8藤井・小村・飯塚大・牧野・佐藤・大島治・渡部 (家庭集会)

幹事報告

- 第3・4・5グループ各ガバナー補佐、出雲RC会長 佐藤大吉様、IM実行委員長 武志 正様よりIM参加へのお礼状をいただきました。
- 3/10・11ウェルサンピア岡山 (総社) において、PETS (クラブ会長エレクト研修セミナー) が開催され、田中会長エレクト出席致しました。

理事会決定事項

- 2007～2008年度地区ガバナー・ノミニニー候補として葛尾信弘会員 (松江東RC) を適任と認められ、地区ガバナー新宮彦助様より通告があり、当クラブにおきましても信任致しました。
- (社)平田青年会議所より40周年記念事業「ひらた100km徒歩の旅」への後援依頼があり承認致しました。

スマイル

三代 (出雲南) この度、三代晴美会員につきましてはご縁がございまして4/1より私共(株)茶三代に入社していただくことになりました。引き続き平田RCさんでよろしくお願ひ申し上げます。

三代 引き続き、職業分類を変えて参加いたします。よろしくお願ひします。

加藤喜・荒木 吉野先生のお話を楽しみにしています。日本花の会では色々とお世話になっています。出雲南RC三代様ようこそいらっしゃいました。

恒松・田中久 } 出雲南RC三代様ようこそいらっしゃいました。
内田・大谷 }

藤井 吉野先生をスピーカーにお迎えして。

飯塚大 三代様、ようこそいらっしゃいました。明日より中国普陀山へ石段マラソン交流に行って参ります。6月にも再び普陀山へ行きますが、宜しければ、ご一緒にいかがでしょうか。

3月29日例会受付当番

持田 稔樹・山根 彰一・吾郷 道夫

- | | | |
|----------------------|------------|---------------------|
| ★松江南クラブ (月) | ★出雲クラブ (火) | ★平田RAC (第1・3水) |
| ★出雲中央クラブ (月) 3/26(休) | ★松江クラブ (水) | ★松江東クラブ (木) 3/29(休) |
| ★松江しんじ湖 (火) | ★大社クラブ (水) | ★出雲南クラブ (金) 3/16 |

会長挨拶

今月の3日に「旧船川の断面化に関する説明会」が県と市の共催であり出席しました。これは平田船川放水路完成により、それが本川になったため平田小学校前を流れる旧平田船川が役目を終え、このまま放置すると昨年の夏季のように大量の藻や浮き草が大発生して繁茂し、取り扱いが問題になり、そのためこの区間の環境対策を講じようとするものです。

実は3年前にこういった問題が予想され、その解決のため県出雲土木建築事務所（現出雲県土整備事務所）主催でワークショップが3回開かれ私も参加しました。これには40数名の関心を持った市民が集まり、小グループに分かれてこの船川再生を徹底的にディスカッションし、そしてまとめ上げ提言をしました。

今回の説明会はこのワークショップの提言を受けて、県のほうで基本計画を策定され、その報告・説明となったものです。計画によりますと旧平田船川区間の内、ひらた乳児保育園裏の取水樋門から平田小前の交友橋附近までについて小断面化を行い、平常時の水面を今の約半分の5メートル幅にし、残りは盛り土をして河川敷にしてスロープをつけて川面に親しみながら散策できるようにし、また土手にはさまざまな樹木を植えるというものです。

これによって、①川の維持管理がし易くなり、経費節減になる。②河川の浄化。③街中の憩いの空間として寄与し新しい都市空間になる……といったメリットが期待されています。

県とか市が新しい街づくりなどの事業を行う場合、今までは行政の一方的な計画で進められるのが通常でしたが、今回のようにまず住民が意見を出し合い、論議を尽くし、そしてまとめ上げた提言を行政が十分に尊重して計画を立て、そして事業を実施するという手法はすばらしいことと思います。

※ワークショップ〔workshop〕①研究集会、②参加者に自主的に活動させる講習会、（原義は「仕事場、作業場」）

スピーチ

桜は一人で育たない。

島根大学名誉教授 吉野蕃人様



桜の開花には3月中・下旬の気温が大きく関与しており、年々早まっています。松江城山公園における桜の満開日は、以前は4月10日頃であったのに対し、近年では4月6日頃になっています。

現在日本の桜の80%以上を占めるソメイヨシノは、江戸末期に交配により育成されて明治時代に人気化した品種で、日露戦争の戦勝を記念して植樹した「がいせん桜」は良く知られています。初期の生育は良いものの、一般に寿命が短く「60年寿命説」と言われますが、植樹後ほったらかしにすることが多い

ことも一因と考えられます。

青森の弘前公園には明治15年に植樹された最も古いソメイヨシノと明治15～20年に植樹された日本一幹周りの太いソメイヨシノが現存していますが、これは公園管理事務所の職員（人）が弘前市の予算（金）をかけて、リング栽培を手本に懸命の管理を施した結果です。

桜と言えば花見です。桜は日本に限ったものではありませんが、花見の文化は外国にはみられません。昔の日本では米ができるかどうかが大きな関心事であって、桜は古くは農民たちが田植え前に豊作を願う心霊を宿した木であったと言われていました。この豊作を祈願する儀式が花見のルーツではないかと考えられています。平安時代から室町時代には宮中でのお花見行事が広まり、豊臣秀吉は権力を誇示するために花見をおこなっています。さらに江戸時代には都市計画にも利用されながら、現代に引き継がれています。

桜も花見の時期には注目されますが、開花時期を過ぎてしまうと見向きもされなくなってしまいます。1年を通じて桜に関心を持ってください。桜が毎年咲くためには、手を加えること、つまり管理が必要です。そうすれば、弘前公園の例のように120～130年、木を保つことも可能です。平田にある愛宕山の桜を大切にしましょう。